

令和6年第5回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 神田 栄治

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) 人口増加と美しい景観形成を目指した緑化推進について	町の緑化推進については令和3年度12月議会において質問し、緑化が人口増加に効果があった3つの事例を示しながら提言した。町では、植樹帯を新たに設置する路線、廃止する路線、現状のまま維持管理する路線を検討している事、現時点で緑化が可能な場所は、中学校正面玄関周辺との回答だった。約3年が経過したが、進捗状況を教えていただきたい。	町長
(2) 歳入増を図るため「ふるさと納税」の返礼品数の大幅増を	<p>平成20年度にスタートしたふるさと納税制度。初年度の寄附総額は81億4,000万円だったものが、平成27年度から急増し、平成26年度388億円だったものが、令和5年度の全国納税額は1兆1,175億円と1兆円市場になった。これは、10年間、年平均1,078億円の増で、トップは宮崎県都城市で、納税額は193億8,400万円にも及ぶ。全国自治体総数1,718で割れば、1自治体あたり6億5千万円となる。一方県内では、令和5年度トップは下関市で16億7千万円。田布施町は4,120万円で、19市町中15位となっている。</p> <p>魅力的な町づくりに必要なものは、財源の確保であるが、財政の硬直化が進む中、ふるさと納税額の増収に取り組む意義は大きい。そこで以下について尋ねる。①町のふるさと納税額の推移（令和元年～5年度）と返礼品数②ホームページでの新規返礼品募集はできないか。③現在の返礼品に当町の野菜や米が少ないと思うが如何お考えか。④返礼品増加にむけ、どう取り組んできたか、また、今後どう取り組んでいくか。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) 介護保険料、国民健康保険税について	<p>本町の介護保険料は、県内19市町の中で最も低料金であると聞いています。65歳以上の方の経済的負担の軽減に寄与していることと思います。一方、国民健康保険税は、令和4年度に税額の引き下げを行い、本年度は平等割額を2,000円引き下げたことから、本町の国保税額も県内自治体の中でも低料金の位置にあると思われませんが、どの位置にあるのか、また、介護保険料、国保税とも他市町と比較し低料金となっていることの要因は何かお尋ねします。</p> <p>また、介護保険料、国保税に直接関連する、介護・国保の保険給付費の今年度の状況と見通しはどうか。更に国保税の軽減・減免の状況、その中でも子ども（未就学児）の均等割軽減、R6年1月より始まった産前産後期間における軽減の状況について併せてお尋ねします。</p>	町長
(2) 外郭団体の公金管理、補助金等適正化条例について	<p>県内自治体の外郭団体の職員が1億5千万円を超える金額を着服した疑いがあると報じられました。全国的にも程度の差こそあれ、このような事案は多々発生しています。</p> <p>本町の外郭団体においては、このような事態が発生しないよう公金の管理をどのように行っているのかお尋ねします。</p> <p>また、これに関連するものとして、外郭団体への補助金等の交付の公正の確保と適正化を図ることを目的とした「田布施町補助金等適正化条例」がありますが、その運用状況について併せてお尋ねします。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) 税と社会保障費の負担率を問う	<p>子どもを持っている友人を見てうらやましいと思う。自分もそうなりたいと思う。この思いが無ければ結婚したり、子どもを持ったりしない。結婚し子どもを持つ友人を見て、その生活が苦しそうなら、独身や子どもを持たない選択をする。しかし、生活が苦しくても家族を持つ喜びはあるのだが、これは外見から判断できない。社会保障費の負担が重く、給与の手取りが少なくなれば家族の生活は苦しくなる。今後も、結婚しない若者は増加すると予測できる。若者の貧困をなくし、生活苦とならない所得を確保する施策が必要と私は考える。</p> <p>標準世帯をモデルに、長期にわたり、税と社会保障費負担率の質問が続いている。従来同様の試算条件で、年収300万円、500万円、700万円の負担率を尋ねる。また、高齢化が進む現在、75歳の高齢者1人世帯の年金収入110万円、200万円ではどうか。</p>	町長
(2) 児童・生徒に対する就学支援	<p>小・中学校の給食費は、義務教育であり無償化が望まれる。給食費の無償化をコロナ後も明確にしている自治体もある。多額の財政措置を要す田布施町の給食無償化を尋ねる。次に、入学時の支援について、中学校ではブレザーの制服が導入されたが、学生服より高価である。以前、入学後の給付を、事務処理は多大となるが入学前支給とした。ホームランはオーバーだが、保護者にとっては行政が提供するヒットな施策と言える。ところで、入学支援金の見直しはされたのか。最後に、昨年、自転車運転時のヘルメット着用が道路交通法で努力義務となった。小学校の児童は3年生で講習会や実技検定があり、パスすれば自転車の運転ができる。要保護、準要保護を対象に入学時の支援、毎月の給食費の支援がなされている。自転車運転許可取得児童にヘルメット代金の支援はできないか。近隣の自治体の現状はどうか。山口県自転車の安全で適正な利用促進条例があり、ヘルメットの着用を促進している。他の市町に先駆けて、小学3年生時点で支援策を望むので尋ねる。</p>	町長 教育長
(3) 緊急避難場所を指定し環境整備を	<p>災害時の避難所として1次、2次避難所は指定されている。高齢者や障がい者、生活弱者を対象にした福祉避難所を田布施町はどのように考えているのか。ペットの問題もある。住民に対し明確にすべきと思う。保健センターは西公民館から本庁舎隣に移転し、住民サービスが向上した。福祉避難所は医療、介護や福祉関連の専門家の配置とあり、役場敷地内という立地条件、専門職員の存在で、保健センターを大災害時の対策本部、福祉避難所として役割を明らかにしたらどうか。</p> <p>田布施川北側の旧市街地は標高が低い。大規模な水害時の緊急避難として、緊急避難場所の指定が必要と思う。町営高層住宅、大内公園、役場の近隣公園などが候補だろう。海岸に接するエリアも津波対策として指定が必要と思う。単に公園として整備するより緊急避難場所とする方が、防災関連で国の支援の可能性が高く財政的に有利と思える。子どもも避難するので遊具の整備も要望する。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) 地方創生総合戦略等について	<p>先日、地方創生検討委員会が行われた。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価、「K P I（重要業績評価指標）の達成状況」はどうであったか、このことは町民にはあまり知られていないが周知すべきではないか。産業雇用振興、移住定住促進、少子化・子育て支援など話し合われたが内容はどうかであったか。人口対策で北海道南幌町が移住全国1位と聞いたが参考にならないか。全国自治体で結婚や子育てを支援する「こども計画」の計画はあるのか。町も住宅地を増やし、若者向けの洒落た町営住宅を建設して移住者を増やしてはどうか。また、消滅可能性自治体となり、不安を感じた麻郷小学校児童が町長に提案をしたが、どんな内容であったか。他の学校も提案を出して貰ったら良いのではないか。</p>	町長
(2) 高齢者健康寿命促進について	<p>先日、町の介護保険料が山口県で一番安いと聞いた。町民の皆さんが健康で元気であれば、町の医療費負担、介護保険料も減るのではないか。隣の広島県では「高齢者いきいきポイント事業」で、健康寿命促進を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり・介護予防に取り組む活動 (グラウンドゴルフ、囲碁、将棋、ウォーキングなど) ・特定検診の受診等 ・ボランティア活動 (児童の見守り、防犯パトロール、サロンの世話人、老人クラブ友愛活動) <p>などに参加すればポイントが付与され、貯まれば奨励金が支給される。町もフレイル（加齢による衰え）予防の為取り入れてはどうか。</p>	町長
(3) 上関中間貯蔵施設について	<p>先日、建設反対署名約3,360筆が議長に提出された。また、光市議会一般質問の答弁で市長は、「仮に計画が進んだ場合、本市の町に対するイメージの悪影響を懸念しているところであり本市にとって一つのリスク要因。」「本市のまちづくりに責任を持つ市長としてこの計画に責任を負うべき国や電力事業者においては周辺に暮らす住民の皆さんの安心・安全の確保と不安の払しょくに向けてより真摯で主体的な姿勢を持っていただきたい。」「周辺市の長として、今後とも、本会議の場を通じて、こうした考えを強く申し上げていく。」と申された。</p> <p>町長のお考えはどうか尋ねる。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1) 県下有数の埋蔵文化財（歴史遺産）の保存と次世代への継承を</p>	<p>1年前の9月議会で「埋蔵文化財（歴史遺産）を活用したまちづくり」と題して一般質問をしたが、研究課題や検討課題が多かったように記憶している。また、発掘調査のまとめの発刊も遅れており、新たな発行計画が出されているが、それをも未刊行のものも多いと聞いている。</p> <p>①案内板と説明板の修復や設置箇所の見直しや最新のコースマップの作成の進捗状況は、できていない場合にはその要因といつまでにするのかを明確に。</p> <p>②埋蔵文化財に詳しい郷土館の館長と文化財調査室の学芸員の連携は不可欠である。今年度、具体的にどんな取組をしたのか。</p> <p>③旧麻里府小に保管している発掘物の整理と公開は。</p> <p>④埋蔵文化財の保存と活用を一層促進する上で地元地域の協力は不可欠である。また、アマチュア愛好家や研究者を育成するためにも、是非、生涯学習の中に埋蔵文化財の保存と活用の位置付けを。</p> <p>⑤発掘調査のまとめの発刊が更に遅れている大きな要因は。</p>	<p>教育長</p>
<p>(2) 観光資源としての埋蔵文化財（歴史遺産）を活用したまちづくりを</p>	<p>田布施町には、古代には田布施川に沿って城南地区まで海に面し、石城山を背景に古墳群があり、熊毛王国として権勢を誇った歴史がある。そういったロマンを感じる中心地である田布施の地において、これまでにいろんな形で埋蔵文化財（歴史遺産）を取り扱った取組が行われ、パンフレットがライオンズクラブや観光協会からも発行されてきた。</p> <p>「古代ろまんを夢見隊」の幟を作り、古代米アートが取り組まれたのは、国民文化祭が山口県で開催された時だったから、まだ歴史は浅い。</p> <p>観光協会は、こういった貴重な財産を継承するために、活動方針や重点的に取り組む活動内容にきちんと位置付けて欲しいもの。</p> <p>①駅前大きく「古墳の町田布施」の看板設置を。</p> <p>②観光協会が教育委員会とタイアップして埋蔵文化財（歴史遺産）を観光資源として活用しようとする具体策は。</p> <p>③大きな観光資源となる田んぼアートへの町と観光協会の取組は。</p> <p>④取り組む予定としている「田布施検定」の今現在の取組は。</p> <p>⑤近隣市町と連携して古墳巡りを田布施町が主体で取組を。</p>	<p>町長</p>
<p>(3) 地域包括ケアシステムの構築を</p>	<p>団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、地域包括ケアシステムの構築を実現するために、町は、昨年度末に第10次田布施町高齢者保健福祉計画を策定し、今年度からそれに基づき、事業を推進しているはずである。重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるようにするには、住まい・医療・介護・予防・生活支援の一体的な提供が求められる。今後、増加が見込まれる認知症高齢者の地域での生活を支えるための対策と取組を尋ねる。</p> <p>①高齢の認知症の予備軍と言われる若年性認知症とMCI（軽度認知障害者）には、どこが担当し、具体的にどのように対応しているのか。</p> <p>②相談窓口となる田布施地域包括支援センターと認知症地域支援推進員は外部に委託しているが、町民への周知と認知をどう図っているのか。</p> <p>③住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう介護する家族、支援する地域、事業所等への具体的な取組は。</p> <p>④避難所に認知症の方をケアできる設備と周囲の人が理解できる体制を。</p> <p>⑤認知症を町民に啓発できる9月の「アルツハイマー月間」の取組は。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1) 住み続け、移り住んでくる「希望の町」を「かたち」に</p>	<p>田布施町の課題、解決策は何か、少子高齢化を起因とした人口減少が大きな問題である。今、田布施町の人口は1万4千人であるが、20年先には1万人となり、その後ますます減少する。地域経済や地域の利便性、暮らしの安全・安心は低下し、人手不足や財政負担の増大など、大好きな田布施町は消滅していくかもしれません。</p> <p>住み続け、移り住んでくる「希望のまち」を「かたち」にすることが重要であり、まちの未来に希望を見いだすアイデアや施策の構築が必要である。そこで、次のことについて尋ねる。</p> <p>①次世代を担う子ども・子育て・教育の充実をもっとすすめては。 ②人生100年をささえる人づくり・地域づくり・健康づくりをすすめ、町民の暮らしを守る施策を。 ③産業（農業・漁業・商業・工業）の活性化と誘致をすすめ、経済を力強くし、若者の働く場をつくり出しては。 ④災害に強いまちづくり・山づくり・川づくり・海づくりを行ない、災害から町民のいのちと生活を守る対策を。</p>	<p>町長</p>
<p>(2) 給食費の無償化を来年度も継続実施を</p>	<p>公立小中学校の児童生徒全員の給食費を無償化している自治体が、2023年9月時点で、全国の3割にあたる547あった。17年度の調査から6年で約7倍に増え、子育て支援の一環で無償化する動きが広がっている。</p> <p>本町では、物価高騰対策として、影響を大きく受けている小中学校の保護者の負担を軽減するため、令和6年度の小中学校の学校給食を無償化した。</p> <p>今、国際的な原材料価格の上昇や円安による輸入品の高騰、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー価格の上昇の長期化など、あらゆる物が値上がりし、実質賃金は減少している状況であり、生活は大変である。家庭の事情にかかわらず、全ての子どもが安心して昼ご飯を食べられるよう保証することは町民の願いだと思う。無償化は子どもに直接支援が届くという点でも「優先度は高い」。こうしたことから、来年度も本町の給食費の無償化を継続されてはどうかを尋ねる。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) 田布施町地域防災計画への取組は	<p>8月8日午後4時43分ごろ、日向灘を震源とする宮崎県南部で最大震度6弱の地震が発生。気象庁は同日午後7時15分に南海トラフ地震が発生する可能性が平時より高まっているとして、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が初めて出され、町民の皆さんの防災への意識がより一層高まったのではないかと思います。本年5月、田布施町地域防災計画が改訂された。震災対策編の災害予防計画には、一番目に防災思想の普及啓発が挙げられている。一人一人に自らの生命と財産を自分で守る心構え、行動を求めるとともに、町は町民に対し、地震に対する防災知識を啓発指導する必要がある、防災の日を設定するなど普及啓発を推進するとある。そこで、地域防災計画の推進について問う。</p> <p>①町職員へ防災対策を積極的に推進する為の研修会等実施しているか。 ②町内各種団体へ災害防災に関する知識の普及啓発指導をしているか。 ③町防災担当者に対し必要な知識、心構えの研修会は実施しているか。 ④大規模災害に関する各種資料を広く収集・整理・保存・公開状況は。</p>	町長
(2) 学校安全教育の取組状況は	<p>8月19日、保健センターで行われた「田布施町児童生徒ふれあい活動」では、「防災×学び×交流」をテーマに、町内の児童生徒が異なる学校同士交流を図りながら、中学生や地域の方もグループに入り、グループ学習によって防災の基本「命を守る」「共助」など防災の心を学べたように感じた。学校については、国の「第3次学校安全の推進に関する計画」に沿って進められていると理解する。この計画は、5つの推進方策を設定。学校の安全を確保するための組織的取組や、家庭、地域、関係機関等との連携、協働。学校での安全に関する教育、安全管理の充実、推進方策に関する横断的な事項等が挙げられている。そこで学校安全の推進について問う。</p> <p>①学校安全を学校経営に明確に位置付けることが出来ているか。 ②学校安全に関する校長・教職員の研修及び充実はなされているか。 ③子どもが危険を予測し、回避する能力を育成する取組をしているか。 ④児童生徒ふれあい活動における防災への取組の成果、そして今後の展開は。</p>	教育長

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1) 地震・津波及び高潮対策について</p>	<p>2011(H23)年3月11日に東日本大震災。M9.0、震度7という日本観測史上最大規模の地震が発生。大津波が東日本の沿岸部を襲い、東京電力福島第一原子力発電所事故が起きた。</p> <p>2016(H28)年4月14日に熊本地震。M6.5、最大震度7。28時間以内の16日に再度、M7.3、最大震度7の地震が発生した。</p> <p>2024(R6)年1月1日に令和6年能登半島地震。M7.6、震度7の地震が発生、南西方向に約2.0mの地殻変動と最大約4mの隆起が起こった。また、約190haの津波による浸水。最大浸水深は約4mに達した。</p> <p>2024(R6)年8月8日に日向灘を震源とするM7.1、震度6弱の地震が発生。発生後、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表された。</p> <p>これらを踏まえ尋ねる。</p> <p>①南海トラフ地震・津波対策を、どのように考えているか。 ②津波・高潮ハザードマップはいつできるのか。また、変更の内容は。 ③本町は南海トラフ地震防災対策推進地域になっているが、南海トラフ地震防災対策計画をどのように捉えているか。</p>	<p>町長</p>
<p>(2) 空き家対策について</p>	<p>本町は、UJIターン者の定住を促進し、地域の活力維持と増進、人口の増加を図ることを目的に、町内の空き家情報を募集し、本町へ移住を希望する人に情報提供する「空き家バンク事業」を行っている。そして、登録後に利用できる「家屋リフォーム事業助成金」制度を設けている。</p> <p>一方、2018(H30)年3月に田布施町空家等対策計画を策定している。</p> <p>これらを踏まえ尋ねる。</p> <p>①HPで空き家情報をみると、登録物件は5件と少ないが、どうか。 ②空き家相談窓口は建設課、空き家バンクは経済課だが、連携はどうか。 ③空き家などの除却促進及び解消に向け、(株)ジチタイアドが運営するサービス「akisol(アキソル)」を試験導入しているが、効果はどうか。 ④(公社)全日本不動産協会山口県本部と(公社)山口県宅地建物取引業協会がある。本町が空き家バンク制度で協定を結んでいるのは前者だが、町内不動産業者の8割を占める後者とは協定を結ばないのか。 ⑤空き家対策はスムーズにしているか。 ⑥特定空家等に対する措置を行ったことはあるか。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) 南海トラフ地震の対策は万全か	<p>今年の8月8日16時43分の日向灘地震には驚いた。その直後から、テレビ画面に、南海トラフ地震臨時情報という政府の特別な注意の呼びかけが表示され、8月15日17時まで続いたからだ。今回はなかったが、いずれ起こる事を日本中の人が実感したと思う。</p> <p>さて、本町の南海トラフ地震の対策は万全か。巨大地震の被害をゼロにすることはそもそも不可能だが、被害をゼロに近づける努力について、色々なアイデアや訓練、避難所の生活用備蓄品、他の自治体との協力体制など、最新の情報を尋ねる。</p>	町長
(2) 小学校校庭のグラウンド 芝生化しては	<p>ここ数年の夏の気温は異常な暑さで、地球の温暖化は分かりやすい事実だ。数年前にも同じ提案をしたが、その時よりもさらに温度が上がっている。前回は、サッカーにも足の裏にもいいなどの理由で提案したが、現在だと、学校全体の温度低下策としていいのでは、の理由がしっくりきそう。</p> <p>もちろん、芝生の手入れは大変で、PTAや色々な人の労力が増える訳だから、簡単ではない。スプリンクラー等の機械をどこまで導入できるか。草引きはどうするか、芝生の張り替え等、仕事はたくさんありそう。</p> <p>まずはモデル校として1校だけでも実験してはどうだろうか。なお、近隣の市の学校や保育園では、かなり前から成功している。</p>	教育長